

***** みんなの子育て広場 子育て通信vol.4 *****

～柏市ではさまざまな取組で家庭教育を支援しています～

- ★ おすすめ！読み聞かせのコツ①
- ★ 一緒にお子さんが小学生になる心の準備をしましょう！
- ★ かがみの世界

学校に出張！「みんなの子育て広場」子育て相談会をはじめます！

子育ての色々なお悩み事や不安なことについて、元学校関係者や子育ての先輩である元PTA関係者が話をお聞きます。
学校でお会いしましょう！

誰かにきいて
もらいたい
OK！

グループでの
利用OK！

気軽に
立ち寄って
ください！

ごはん
もういない…

苦手メニューじゃ
ないはずだけど、
何かあった？
どう聞いたらいい？



みんなの子育て広場は、気を付けながら元気に活動中です！

発行：柏市教育委員会 生涯学習課

柏市教育委員会生涯学習課公式Twitter：@kashiwa_SGGs



～おすすめ！読み聞かせのコツ①～

子育てママの座談会



きつねママ

仲良しグループの
きつねママ。
小学3年生の娘が
いる。



りすママ

仲良しグループの
りすママ。
小学1年生の息子
がいる。



きりんママ

仲良しグループの
きりんママ。
読み聞かせサークル
に在籍活動中。



最近うちで過ごすことが多いでしょう？

小3の娘が「本読んで」って言うんだけど、もう大きくなってのにもまだ読み聞かせなんて…



まだまだ親の声を間近に聴いていたいんだよね。

それに、誰かに読んでもらうことって、自分で読むのと違う想像力がはたらくからね。ぜひ読んであげて！



わたし昔から音読とか得意じゃないんだけど、どうしたらいいかな？



大丈夫だよ！

読み聞かせの主演は「本」と「聴く子どもたち」で、自分はお手伝いだと思って気楽に読んでみて。

試しに「泣いた赤鬼」なんかどう？



教科書に載ってるお話だよ。

以前、娘が読んでた気がする。読み慣れちゃってるお話だと飽きないかな。



そうでもないかもよ、素敵なお話は何度読んでも読んでもらっても、新鮮な発見があると思うし。



そうなんだ、読むときは鬼になりきって、大きな声を出したり大げさに読んだりしたほうがいいの？



そうね、大げさな読み方は楽しいけど、文章が印象に残らないことが多いの。

泣いた赤鬼の、お茶も沸かしてごさいます。みたいなセリフも、淡々と読んだほうが子どもの頭の中でイメージが膨らむんじゃないかな。



なるほど！子ども自身がイメージを膨らませるのね！



じゃあさ、最後のほうで青鬼がいなくなるでしょ？読みながら「青鬼くんかわいそうだね」って問いかけたほうが、盛り上がるかも！とかは？



文章になってない部分は、子どもが自分で考えてよいスキマなんだろうから、表情を見ながらも、子どもの考える姿に任せてみたらどうかな。



そうかー、子どもに考えさせるのもいいね。
読んであげているとどうしても楽しいかが気になって、「どうだった？」って聞き
たくなっちゃいそう。



そうだね、もちろん聞いても間違いじゃないけど、言葉にならないようなふわっと
した思いを聞き出さなくても十分楽しんでるんじゃないかな。



なるほど！子どもの気づきを大事にしてあげればいいんだね。



うんうん、小さいころってもっとダイレクトに本の世界に入ってるが多かった
よね。登場人物に共感して、楽しんだり、悲しんだり、想像したり。
昔、「はらぺこあおむし」を読んだときには、あおむしさんおなか痛いのが大丈夫か
な、お薬飲んだかなって心配してたっけ。



そういえば、ウチの子も「おおきなかぶ」を読んだあとには、かぶやだいこん抜く
のに興味があったのを思い出すなあ。



そうそう、何度読んでも、そのたびに新しい発見をしてくれるよね。
とはいっても、面白い読み方が好きな子もいるし、じっくり聴くのが好きな子もい
るし、親子の読み聞かせのスタイルに正解や間違いなんてないんだから、それぞれの
様子に合わせて読んであげて。



実は、小1の息子は逆にあんまり本が好きでないようで気になってるんだけど…



そうなんだ、それは私ちょっといいやり方知ってるかも！



ほんと？ありがとう！今度教えて！



娘にはあんまり深く考えすぎずに子どもと楽しく読んでみるね！



そうそう！
本の楽しさも知ってほしいけど、なにより、今しかできないおうちの人と濃密な関
係を築くチャンスだから、ぜひゆっくり読んであげて、素敵な時間を過ごしてね。

参 考：コラム「子どもに絵本を読み聞かせる効果とは？習慣化、年別のコツは？」

和氣 タイ子

U R L : <https://www.watashi-hoiku.jp/column/00046.html>

※ 泣いた赤鬼 浜田廣介作

人間と仲良くなりたいたいと悩む赤鬼に、友人の青鬼は、里山であばれる僕をきみがやっつけば、きみは人
間の味方だとわかってもらえるだろう。と申し出ます。

その言葉通りに青鬼を追い払って人間と仲良くなった赤鬼でしたが、青鬼は、きみと僕と一緒にいると
きみまで疑われてしまう。僕はここから去るよ。と手紙を残して去ってしまいます。

それぞれを思いやる気持ちが胸を打ちます ><



次号では「読書に興味をもたせるには」をお届けしたいと思います

